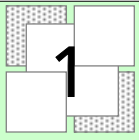


## 第2章 幸区の将来像・都市構造



1

# 幸区の将来像

幸区・区民提案のスローガン

「水と緑と創造のまち

生き活き・さいわい」



## 2

## 将来像の考え方

## 幸区・まちづくりの基本目標と6本の柱

ふるさと幸区は、緑豊かな加瀬山と矢上川、鶴見川、多摩川に育まれた長い歴史の中に、時代とともにいきいきとした人々の営みがありました。

将来像を考えるにあたって、ふるさと幸区に学び、活力のある豊かなまち・幸区の創造を目指して、幸区・まちづくりの基本目標と6本の柱を提案します。

## 幸区・まちづくりの基本目標

環境共生のまちづくり

安全な生き活きまちづくり

## 基本目標にもとづくまちづくりの6本の柱

- |                                      |                            |
|--------------------------------------|----------------------------|
| (1)地球市民として「地球環境とともに生きる」まちづくりを目指します   | (4)安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します  |
| (2)幸区特性を活かした「地域社会とともに生きる」まちづくりを目指します | (5)多様な交流、賑わいのあるまちづくりを目指します |
| (3)コミュニティを大切に「人と人と共に生きる」まちづくりを目指します  | (6)新しい産業を創造するまちづくりを目指します   |

## 時代の動きと幸区・まちづくりの視点

幸区の20年後のまちの姿を描く「都市計画マスタープラン幸区構想」は、幸区・まちづくりの基本目標と6本の柱を軸に、幸区の現在までの歩みと地域の特性、そして今、課題となっているまちの様々な問題点を見据えた上で、これからの時代がどのように動くかを予測し、まちの将来像を導き出すことが重要だと考えます

大量生産・大量消費・大量廃棄による物質的豊かさを求めたバブル経済の崩壊後、私たちの生活のあり方や価値観に大きな変化が生まれ始めています。

環境の汚染・破壊、資源の枯渇、エネルギー問題、地球温暖化、異常気象、大災害、犯罪、デフレ経済、少子高齢化等、私たちの生活を取りまく環境は激動の中に新しい時代を迎えています。

21世紀は「環境の世紀」ともいわれ、時代は環境共生へと動き始めています。幸区の将来像を描くにあたって、時代の動きとそれに対する幸区・まちづくりの視点を次のようにとらえました。

## 時代の動き

## 幸区・まちづくりの視点

## ● 地球温暖化の緩和へ

- ・海面水温、大気の状態等が変り、異常気象が多発している
- ・高温多雨となり、生活に様々な悪影響を及ぼす
- ・京都議定書2005年発効。温室効果ガス削減目標の達成へ

## ① 温室効果ガス削減対策のまちづくり

- ・省エネルギーに配慮した暮らしとまち
- ・樹木を増やし温室効果ガスを吸収するまち
- ・新エネルギー（CO<sub>2</sub>を排出しないエネルギー）に取り組むまち

## ● ヒートアイランド現象の緩和へ

- ・21世紀末の日本は、30℃以上の真夏日が年間100日を越えると予測
- ・猛暑や熱帯夜等、生活環境の悪化
- ・都市熱で局地的豪雨と都市水害の発生

## ② みどり・雨水を活かしたまちづくり

- ・緑豊かなまち  
(屋上緑化、壁面緑化、生垣等の推進)
- ・雨水を一時貯留するまち  
(緑化、保水舗装、地下貯留、地下浸透等)
- ・輻射熱の放出やエネルギー排熱削減のまち

## ● 地球生態系の保全へ

- ・人間は、自然を利用しなければ生きていけない
- ・生物多様性保全の重要性は、国際的に認識

## ③ 多様な自然のあるまちづくり

- ・水辺やみどりを再生・保全した、自然と共生するまち
- ・多様な生物の棲息に配慮した暮らしとまち

## ● 地球資源枯渇の緩和へ

- ・日本の資源消費に見合う国土の広さは、現在の8.5倍必要
- ・資源循環型社会への転換  
(廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用)
- ・新エネルギー導入の拡大

## ④ 持続可能な循環型のまちづくり

- ・資源消費に配慮した暮らしとまち
- ・資源の付加を推進するまち
- ・ゴミを資源に有効活用するまち

## ● 新しい時代ニーズを創出する産業へ

- ・省エネルギー等、温室効果ガス削減の分野
- ・全地球測位システム(GPS)等、情報技術分野
- ・ナノテクノロジー(超微細技術)等、新素材分野
- ・廃棄物を出さない資源循環型産業

## ⑤ 産業資源を活かしたまちづくり

- ・「新川崎・創造の森」地区を充実、拡大
- ・研究開発型産業をネットワークしたまち
- ・最先端技術を世界に発信するまち

## ● 歴史・文化の重視へ

- ・地域の歴史を大切に、個性豊かなふるさとづくり
- ・文化を育み、ゆとりとうるおいのある生活
- ・歴史・文化による多彩な交流

## ⑥ 質・ゆとり・うるおいのあるまちづくり

- ・幸区の里山「加瀬山」を歴史拠点に
- ・二ヶ領用水跡の一部水辺の再生、保全
- ・ミュージアムを文化拠点に地域文化のネットワーク

## ● 少子・高齢化社会の対応へ

- ・子育て支援は社会の問題
- ・高齢者の地域参加と支援整備

## ⑦ 子育て・高齢者が安心できるまちづくり

- ・安心して子育てできるまち
- ・高齢者が元気に活動できるまち

## ● 防災・防犯対策の充実へ

- ・地球温暖化による異常気象が多発し、激甚災害の増加
- ・大地震(M7級)が20～30年でおきる可能性がある地域を全国10ヶ所指定
- ・子供、高齢者が被害者、加害者となる犯罪や情報系の詐欺事件の増加

## ⑧ 安心・安全なまちづくり

- ・防災対策の整備したまち
- ・地域力で安心、安全なまち
- ・明るいうるやかなコミュニティづくり
- ・バリアフリーで快適なまち

## ● 価値観多様化の活用へ

- ・多様な人材の育成と活用
- ・外国人の地域参加と交流

## ⑨ 多様な人が参加するまちづくり

- ・個性豊かな活気のあるまち
- ・多様な参加で魅力あるまち



## 幸区・まちづくりの6本柱から見た、幸区の将来像のイメージ

## 地球環境と共に生きるまちづくり

- ・水とみどりを育むまち
- ・多摩川河川敷の有効活用
- ・二ヶ領用水の復活と緑道整備
- ・資源を大切にするまち
- ・多様な動植物と出会うまち
- ・CO2を削減するまち
- ・意識開拓と環境教育

## 安全で安心して暮らせるまちづくり

- ・孤独にならない・一人にさせないまち
- ・自然と安全の両立したまち
- ・防災・防犯で明るい助け合いのまち
- ・住み続けたいくなるまち
- ・バリアフリーで快適なまち

## 地域社会と共に生きるまちづくり

- ・子どもの遊べる空間のあるまち
- ・安心して子育てできるまち
- ・子どもや高齢者が元気で安全なまち
- ・歴史・文化を住民の宝とするまち

## 多様な交流・賑わいのあるまちづくり

- ・明るいまち
- ・希望のあるまち
- ・新しい時代のまち
- ・多様な人の参加で活気のあるまち

## 人と人と共に生きるまちづくり

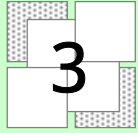
- ・人情をつなぐまち
- ・思いやりと助け合いのまち
- ・温もり社会の実験区

## 時代をリードする活力あるまちづくり

- ・新しい産業を創造、発信するまち
- ・研究開発型の産業資源を活かしたまち

将来像を具現化する、幸区のみちづくり方針テーマ





## 3

## 将来都市構造

幸区の将来像を踏まえ、5つの「まちづくりの方針」、まちの拠点を育む、豊かな生活を育む、水と緑を育む、みち・交通を育む、安心を育むに掲げられた方針を整理し、将来のまちの空間構造を図に示します。

